

一般社団法人アートアンサンブル白川（黒川を愛する集落支援員）

しおつき しょうこ  
塩月 祥子 さん（42才）

しらかわちょう  
（岐阜県白川町）



自ら有機農業を支援する“はさ掛けトラスト”発足、自然素材でできたストローベイルハウスをセルフビルド、得意分野のアートを生かして団体の立ち上げ、イベントの主催と次から次へと新たな課題に取り組み、地域を活性化する姿に脱帽。今後は集落支援員として地域づくりへの貢献も期待したいという意欲と実行力を高く評価されました。



## ■受賞の内容

武蔵野美術大学でデザインを学び、結婚を機に名古屋に帰郷。予備校のデッサン講師などを経て、白川町に移住しました。2004年、第一子出産。食物アレルギーをきっかけに、悩みに悩んだ末、自分たちの生き方自体を変えたいと田舎暮らしを決意。同時期に雑誌「自給自足」で藁と土の家“ストローベイルハウス”を知り、建築の勉強をしていた夫とともに、自然素材で造る家づくりにはまり、自分で設計したいという夫の夢と、幼い頃から自分でデザインした家に住みたいと思っていた私の夢が重なり、里山で建てたい！との想いを同時に抱くようになりました。ストローベイルハウスとは、圧縮した藁をブロック状にして積み上げ、その表面に土を塗り重ねて仕上げる家です。環境に負荷をかけない建築として、世界中に広まっています。自分たちでストローベイルハウスを建てたいと考えたが、無農薬の藁を使いたい長い藁でないと加工できないため、昔ながらの“はさ掛け”をする米作りをしようと2006年、「はさ掛けトラスト」を立ち上げました。はじめて白川町黒川を訪れたその日に、ビビっときて、移住を決意。2007年、待ちきれなくて2人目が生まれて1ヶ月半での強引引越しして、「はさ掛けトラスト」の活動をしながら、地域の中で生活を始めました。お米・味噌・豆を自給しつつ2008年、夢のストローベイルハウス建設地を決め、2009年、3人目を出産し5大家族になりました。お世話になっている黒川の農家さんの山で建材用のヒノキを切らせてもらい、地元の木こりさんに頼み新月の日に伐採、1年かけて乾燥させて2010年ストローベイルハウス建設を開始しました。建築における技や知恵を残したく在来工法で建設です。建前までは、地元の在来工法の知識をもつ大工さんに依頼、その後は主に夫が造り続け、私も第3子をおんぶして土塗りをするなど、家づくりを手伝いました。

2017年、白川町をアートで盛り上げたいと、夫と共に「一般社団法人アートアンサンブル白川」を設立。2018年10月初回イベント「アートであつとおばけやしき」を地域の芝居小屋「東座」で開催。2日間で445人集客。以後アーティストインレジデンスの活動を続けています。2019年、まちづくりへの熱い思いから集落支援員に地域の推薦も受けて就任。移住案内、相談、黒川地区のホームページ制作、毎週美味しいスイーツを食べながら、子育てや教育について語れる場の黒川こどもミライ会議の企画運営をしています。また、町内に高校がなく、通うのが大変、選べないなどの理由で子育て世代が町外へ出て行く、戻ってこない問題解決に役場や地元企業にかけあう等々、奔走中です。ますます黒川地区への愛が深まり、まちづくりへ思いも強くしています。知れば知るほど面白い、出会えば出会うほどステキな人ばかりです。子育て世代の移住者も増えており、子育てしやすい地域、暮らしていて楽しい地域として、さらに広く発信し、帰ってきたくなる地域、移住したくなる地域にしていきたいです。

## ■受賞者と農山漁村との関わり

【移住】12年

【地域での実践活動】13年

## ■写真の説明

（写真左）こどもアート

（写真中央）ストローベイルハウス建築中

（写真右）移住仲間と塩月邸

## ■連絡先

〒509-1431 岐阜県加茂郡白川町黒川 2584-4

☎ 070-2631-4100

Facebook 塩月（春日井）祥子